

むくらむくら

令和元年 6 月 1 日発行

第 20 号

社会福祉法人桜友会
児童心理療育施設 桜学館

〒501-3932 岐阜県関市稲口 777 番地 1

Tel 0575-24-0050 Fax 0575-24-0051



ごあいさつ

桜学館施設長 山口 薫

新しい年度を迎え、2 か月目となりました。

今年は思うように季節が進まず、春先に寒い日が続き、なかなか春らしい気候になりませんでした。やっと芽を出した野菜たちもこの寒さにはビックリしていたようです。

30 年度中学を卒業して退所した男子 3 名、女子 2 名は高校に合格し家庭に戻り新しい生活を始めています。

今年度、2 名が中学に入学しました。少し大きめの学生服に身を包み入学式を立派に行う姿は、微笑ましくも凛々しくも感じました。

新しい年度になり、新たに 4 名の友達が入所し生活を始めました。新学年となった子ども達は毎日元気に思いを発信しながら隣の分級に通っています。

職員では、桜学館開設前から 20 年以上務めたベテラン職員の退職がありました。今後も違う立場から見守って頂きたいと思っています。そして、新たに大学新卒の職員が入職し、若々しい職員体制になりました。皆さまのご指導・ご協力をお願いいたします。

今年は社会的な変化も多く、5 月に「平成」から「令和」に変わりました。初の 10 連休で戸惑いや困り事もありましたが、6 月を迎える時期となり、ようやく生活に慣れてきました。

今、子ども達は学校の一大イベントである体育祭の練習に大忙しで連日競技の練習に汗を流しています。学校は少人数なのでそれぞれが役割を持ち、運営にも競技にも関わる全員参加型の小中合同の体育祭です。

さて、桜学館の知名度がまだまだ社会に定着していないと考え、昨年末職員手作りの小さめのパンフレットを作成しました。桜学館の力を様々な養育問題に活用してもらえるように市町村や教育関係者に配り、これからの社会的養護の期待に応えられるようにしたいと考えています。

桜学館の隣には、子ども家庭支援センター「とも」が設置されています。以前は子ども食堂も行っていました。現在、「とも」では主に地域の子どもの達や親さんの養育相談に関わっています。これからは更に地域の里親さんの支援など、広く活動していきます。

これまでも「お花・お茶ボランティア」、「スポーツ指導」、「遊具のご寄付」など、幅広いご支援やご協力を頂いています。ありがとうございます。今後、支援とご協力を受けながら子ども達の健全な成長と発達を願って生活支援をしたいと考えています。地域の皆さまの暖かいご支援やご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

風ユニット

令和という新たな時代を迎えました。

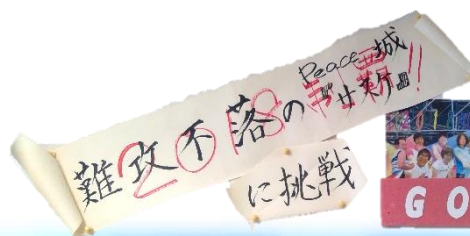
今年度、風ユニットは6人の子どもたちと共に新学期がスタートしました。今年のユニットはどんな色に染まっていくのか、子どもたちの成長とともに5名の職員で見守っていきます！毎年恒例である、子どもたちが主になって考えるユニット目標。子どもたち1人ひとりの意見を集めそれぞれの意見のなか、みんなの希望は昨年度に引き続き、「**笑い合い 話し合い 助け合い**」に決定しました！！

この目標を掲げ、その周りには大きい手や小さい手など、子どもたちの6つの手形とともに掲示します。

笑顔いっぱい、元気いっぱいの風ユニットを目指します！



虹ユニット



2018年度「SASUKE」難攻不落の **peace城** 攻略！！

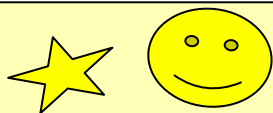
それぞれが闘い抜いている中に突如現れた愛されキャラ「**コウペンちゃん**」
令和元年となり、コウペンちゃんがこんなことを言い出した！
「**お空を泳ぎたい！**」

コウペンちゃんは、コウテイペンギンの雛…。簡単に空を飛ぶことができません。

そこで、虹ユニットのメンバーは考えました。「**ほくたちが空を飛ばせてあげよう。**」
昨年度の取り組みの成果で、平和・安全が守られた虹ユニットの **真価を見せよう**
と思います。コウペンちゃんから溢れる優しさパワーを受け取って、
自分を大切にしたり、仲間を思いやったりする力 を培って、大空を泳がせてみよう
じゃありませんか。

今年は、中三2名、中一1名、小六1名、小四1名、小三1名の個性豊かな6名と、
個性の強い（笑）職員6名が描く壮大なストーリーを楽しみにしてください。コウペン
ちゃんが空を泳いだ日には、コウペンちゃんと虹ユニットのコラボ絵本を作ります！！



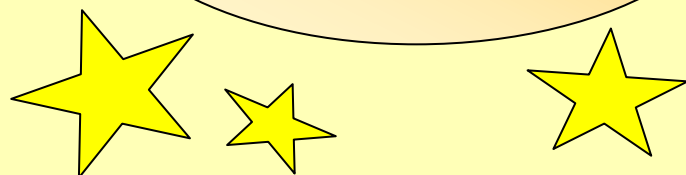


光ユニット



ユニットでの生活を
より良くする為の取り組
み『ひかりてつどう』
みのおおた駅から発車！
ゆっくりですが確実に進
んでいきますよ！

毎週月曜の子どもミーティ
ングで意見を出し合い、よりよ
いユニット作りに励んでいま
す。到着した各駅ではごほうび
が待っています！ファイト！



★空ユニット★

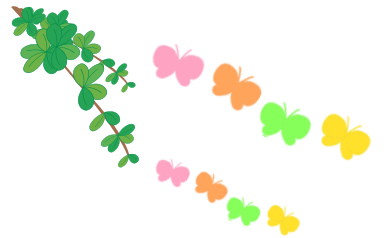


昨年度の一年間、現中3生を対象に、中学生会を行ってきました。自分のことにどこか他人事…。少しでも楽しみながら自分たちのことに目を向けてもらいたいなという思いでスタートしました。主な取り組みは公共交通機関を使つての外出です。自分たちで相談し合い、時刻や行き先を調べて向かいます。初めは時刻の調べ方や切符の買い方に戸惑う場面もありましたが、年度末には自分たちで周りの人に尋ねて目的地まで行くことができました。また、ユニットでは洗濯機の使い方を学び、退所後に向けた生活を意識することができました。今年度も中学生会を継続し、楽しみながら様々な経験を積んでいきたいと思っています。





桜学館分級のあゆみ



2019年度が始まりました

小学校（レインボー）10人、中学校（シリウス）14人で、分級の2019年度がスタートしました。児童生徒一人一人が、『こんな自分になりたい』、それぞれの学級が『こんな学級にしていきたい』という願いをもって、分級での学習や様々な活動に取り組んでいます。

【レインボー1, 2組】

仲間と 楽しく 何でも 挑戦！

～えがお・がんばる・思いやり～

小2から小6まで5学年の児童がいます。毎日元気いっぱい、楽しく勉強したり、遊んだりしています。時にはけんかすることもあります。どうしてけんかになったのか、一緒に理由を考え合い、謝り合って仲直り。また一緒に、様々な活動に取り組みます。

【シリウス2組】

友～支え合い～

目指す自分の姿に近づくために、①自分の弱さに立ち向かう強さをもつこと ②仲間のがんばりを認め、仲間の心の痛みを理解し、仲間を大切にしたいという「思いやり」をもつこと… この二つを大切にし、がんばる仲間と支え合いながら、自分自身と学級を高めていきます。

【シリウス1組】

Step by Step～カッコいい中学生になろう～

2人だけのクラスで担任も昨年からの持ち上がり。「小学生と中学生の違いは何だろう」「この姿はカッコいい中学生と言えるかな」と折に触れて話し合いながら、自分の夢や目指す姿を模索中です。

【シリウス3組】

頂戦 ～頂上めざして挑む一年～

☆最高学年として分級の頂上に立つ！
☆学習に力を入れ高校合格という頂上に達することを目指し、男子5名女子3名、仲間に優しく、自分に厳しく、明るく楽しいクラスを目指します！

小中合同縦割り班別活動

分級では、中学生と小学生が学校・学年の枠を外した班を組み、その班ごとに活動する機会を設けています。新リーダーとなった中学3年生を中心に、4月には「進級を祝う会」が行われました。

今回の進級を祝う会では、中学生と小学生高学年と一緒に、デザート調理を行いました。班ごとにメニューを決め、役割を分担し、調理開始！「ホイップを泡立てたい！」「生地を焼きたい！」と積極的に調理に取り組む姿、それをあたたかく見守る姿が、あちこちで見られました。自分たちで作ったデザートはどれもおいしかったようで、みんな笑顔になっていました。



みんなで作ったから、おいしいね！



力を合わせて作ろう！

宝探し！
指令書を読んで、宝を探そう！

お花見BBQ



今年もキレイなさくらが咲き、今年度も新人職員さんを迎え入れ、
お花見 BBQ を開催することができました。

食欲旺盛な子が多く次々とお肉が無くなり、まだかまだかとお肉が
焼けるのを待っていました。いっぱい食べた後は運動！
という事で、桜学館で絶大的な人気のある全力戦闘鬼ごっこを行いました。
やはり、味方の大将を守る為にバトルは白熱していました。



逃げろ～！



捕まった～！
助けて～！！



ボランティアのお礼

愛知東邦大学、遊びクラブの学生さんにシャボン玉で遊んで頂きました。
お花・お茶ボランティアの方々に不定期に来て頂いています。
普段ではでない体験に子ども達は楽しんで参加しています。



給食委員会より

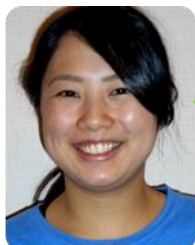
初めての試みとして「おやつバイキング」を法人本部の調理員さんに作っていただきました。子ども達や職員にも大好評でした。



新人スタッフの紹介

今年度、1人の新しい職員さんを迎えました。抱負とともに紹介します。

指導員 戸谷 葵



桜学館に入職して2ヶ月が経ちました。
先輩職員や子ども達から日々学ぶ毎日です。1日でも早く、子ども達の思いに寄り添える支援者になれるよう頑張りたいと思います。
よろしくお願いします。

子ども家庭支援センター「とも」

外から響く「桜学館」の子ども達の元気な声が嬉しいです。

開所3周年を迎える「とも」の今年度の目標は

- ①丁寧な相談活動を心掛け、利用者や関係者を信頼される「とも」にしましょう。
- ②知識・技術を高め、それらを実践していきましょう。

です。相談機関として「育てる・助ける」ではなく、子どもや家族が力を発揮するために「手伝う」技術を高めていきたいです。今年度もどうぞよろしくお願いします。

編集後記

新元号の令和となり、長い10連休も終わりました。子ども達は体育祭の練習で疲れたと言いながらも若い職員と外で遊ぶ姿も多く見かけます。

集団で遊ぶ中で小さな行き違いもありますが、そんな経験を通して職員の助けも借り友達との付き合い方を学んでいます。

季節外れの真夏の様に暑い日も増えてきます。どうぞ、ご自愛ください。

広報紙「さくらさくら」へのご意見、ご感想をお寄せください。(E-Mail: sakura@hohoemi.or.jp)